



## 「JSRグループ CSR Report 2011」

### 第三者検証 意見書

2011年7月8日

JSR株式会社  
取締役社長 小柴 満信 殿

一般社団法人 日本化学工業協会  
レスポンシブル・ケア検証センター長

中田 三郎



#### ■ 検証の目的

レスポンシブル・ケア報告書検証は、JSR株式会社が作成した「JSRグループ CSR Report 2011」冊子版及びWEB版(以後、報告書と略す)に記載されている、下記の事項について、レスポンシブル・ケア検証センターが化学業界の専門家の意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性
- 2) 数値以外の記載情報の正確性
- 3) レスポンシブル・ケア活動の評価
- 4) 報告書の特徴

#### ■ 検証の手順

- ・本社において、各サイト(事業所、工場)から報告される数値の集計方法の合理性、及び数値以外の記載情報の正確性について調査を行いました。調査は、報告書の内容について各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、並びに彼らより資料提示・説明を受けることにより行いました。
- ・千葉工場において、本社に報告する数値の算出方法の合理性、数値の正確性、及び数値以外の記載情報の正確性の調査を行いました。千葉工場の調査は、各業務責任者及び報告書作成責任者に質問すること、資料提示・説明を受けること、並びに証拠物件との照合することにより行いました。
- ・数値及び記載情報の調査についてはサンプリング手法を適用しました。

#### ■ 意見

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性について
  - ・数値の算出・集計方法は、本社及び千葉工場において、合理的な方法を採用しています。
  - ・調査した範囲に於いて、パフォーマンスの数値は正確に算出・集計されています。
- 2) 記載情報の正確性について
  - ・報告書に記載された情報は、正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章の分かり易さに関し、若干指摘事項がありましたが、現報告書では修正されており、現在修正すべき重要な事項は認められません。
- 3) レスポンシブル・ケア(以後、RCと略す)活動の評価について
  - ・事業に直結した重要課題として、E2イニシアティブの本格的な展開、生物多様性保全への取り組みがなされていることを評価します。
  - ・これまで実施してきた大規模地震対策や危機管理訓練等ハード、ソフト面での活動の成果が功を奏し、東日本大震災での被害を最小限に止めたことを評価します。
  - ・個人弱点発掘、声掛け運動等を取り入れた活動を通して JSR 社員休業災害ゼロを4年間継続し、またグループ会社を含めた(休業+不休+微小)災害件数を年々減少させていることを評価します。
  - ・千葉工場では、社員休業無災害記録を24年間継続していること、2001年度からごみゼロを継続していることを評価します。また、産業廃棄物の有価リサイクルに成功していることを評価します。
- 4) 報告書の特徴について
  - ・写真、図、関係者の生の声を充実させ、片仮名を極力減らす等、分かり易く、読み易い報告書を目指している。

以上